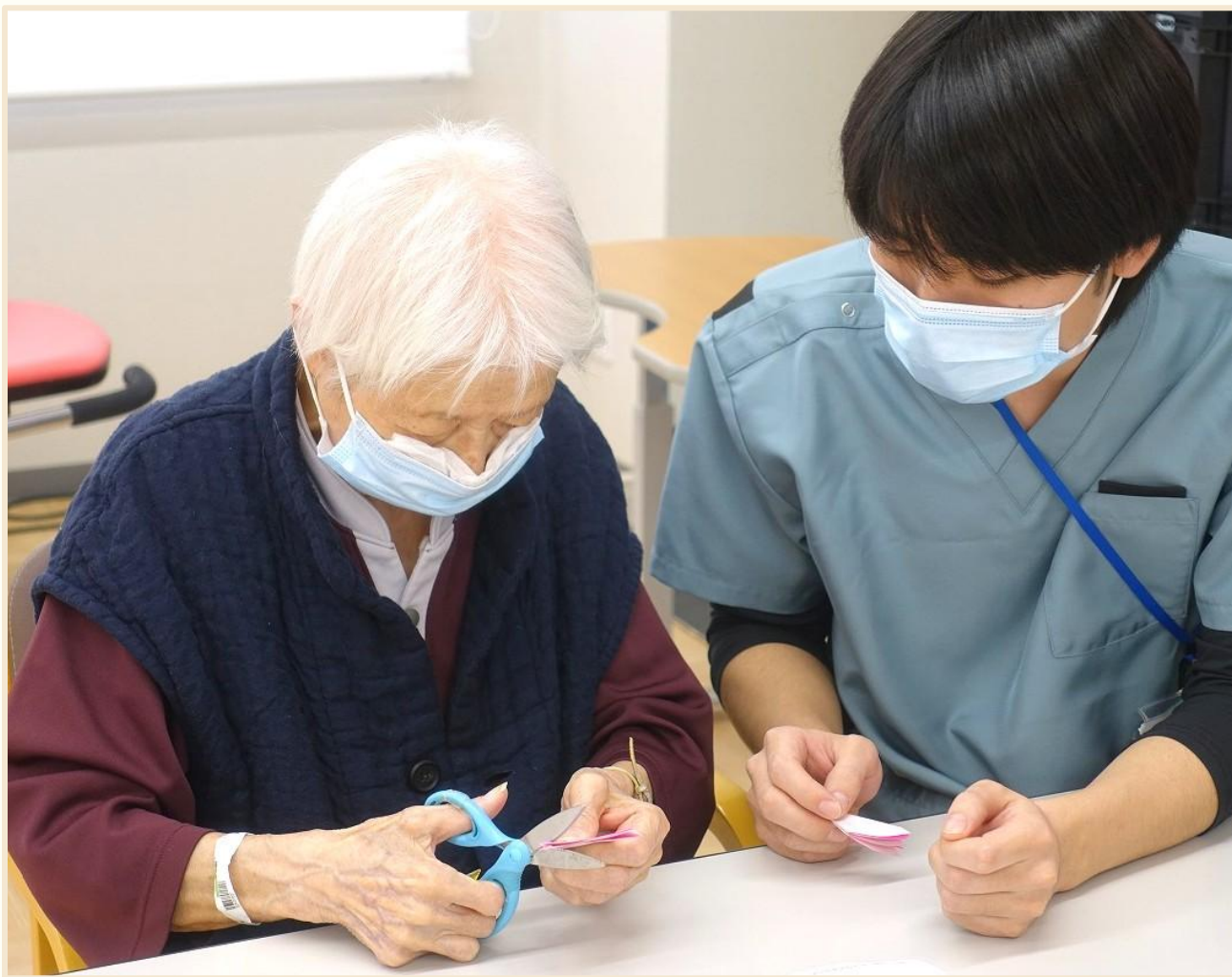


りはる - Re 春 -



訪問リハビリ テーションの ご案内

当院では、退院後の患者さんがより自立した日常生活を過ごせるよう、経験豊かなスタッフによる訪問リハビリテーションを提供しております。確かな技術ときめ細かなサポートで多くの方にご好評をいただいております。当院に入院歴のない患者さんもご利用いただけますので、ぜひご相談ください。

【対象範囲】東淀川区・淀川区内で、病院から半径3km圏内

【提供日時】月～土 9:00～17:00（日・年末年始を除く）

【お問合せ先】淀川平成病院 地域連携室

病院食なのにお刺身？ポキ丼でハワイ気分



淀川平成病院では冬季に限りお刺身を使ったメニューが登場します。お刺身は鮮度管理や温度管理が難しいので、病院食として提供している病院は少ないのではないのでしょうか。

この日はマグロを使ってハワイの郷土料理「ポキ丼」をご提供しました。アボカドと一緒に醤油ベースの調味料で和え、白飯に乗せたハワイ風の海鮮丼です。ガーリックシュリンプやココナッツゼリーと合わせてハワイ御膳に仕上げました。

ご入院中でも少しでも季節や変化を感じていただけるよう、当院では毎月全国各地の郷土料理や世界各国のローカルフードをメニューに取り入れ《食べる楽しみ》を大切にしています。

2023年度 10月～1月当院実績

在宅復帰率	重症度割合	重症患者改善割合	アウトカム評価
88.4%	49.6%	56.8%	59.4

アウトカム評価

入院中に効果的なりハビリテーションが行えたかどうか、特定の指数でアウトカムを評価しています。医療保険の基準では、**40以上**であることが求められています。**短い入院期間で生活機能が向上するほど、高い**指数が出るようになっていきます

職員みんなで正しい手洗い

手指衛生は全ての医療行為の基本であり、感染防止に対して大きな役割を果たします。患者さんのケアやリハビリ訓練を通じて、直接患者さんに触れる機会が多い私たちは、職種に関係なく手指消毒を正しく実施できなければなりません。そこで、ブラックライトと手洗いチェッカーを使った「手洗いチェック」を**全職員**で実施しました。

専用の手洗いチェッカーをまんべんなく塗り込んでから手洗いスタート。チェッカーは特殊な塗料のため、どこにどのくらい付いているか目視では分かりません。ついつい、いつも以上に時間をかけて丁寧に手を洗いますが、ブラックライトの下で手を見てみると…！思っていたほど洗えていない、洗い残しがあったことに気付かされました。

各職員が自身の手洗いのクセを確認できたことで、確実な手指衛生の実践につながるよい機会となりました。今後も感染防止の徹底に取り組んでまいります。



ブラックライトの下で白く浮かびあがっている箇所が洗い残し



地域とともに 暮らしを 支える

住み慣れた地域で自分らしい生き方を人生の最後まで続けるためには、地域住民や地域の医療・福祉関係者がつながりあい、互いの強みや特性を活かした地域づくりが求められます。

当院も、リハビリテーションのプロ集団として、地域の健康増進や技術移転に積極的に取り組んでいます。

昨年11月に開催された「介護・技術講習会」では、当院の若手職員が技術アシスタントとして参加し、介護に携わっている専門職の方を対象に介護に役立つ力学的知識やベッドから移乗までの技術等をお伝えしました。

「ベッドの高さなど、環境を整えるだけでも患者さんの移乗は楽になります。疲れにくく、体を痛めにくい介護のために、人間の筋肉の動きをよく知る理学療法士の視点や技術は役立てられると思いました（片山）」

「持続可能な介護のためには、患者さん自身の力を引き出すことで介護への負担をできるだけ減らすことが大切だと考えます。患者さんはどこを助けたら動作がしやすいのか、そのポイントを絞って介助することで、患者さんの自立も促されますし、介護の負担も減らせます（河野）」

今回の企画は、地域の異なる職種のメンバーが技術講習を通じて交流し、相互に情報交換することで大きな学びの機会となりました。職種それぞれの特性や技術を共有することで、地域医療・福祉の質の向上につながると考えています。



講習会でアシスタントを担当した
河野PT（左）と片山PT（右）



患者移乗の実技演習（中央：理学療法士）



講師を務める東郷PT（右端）

今年1月には、地域住民の方を対象とした転倒予防講座を開催し、当院の理学療法士が講師を務めました。転倒は、高齢者にとって要介護や寝たきりのきっかけになってしまう重大な事故です。なぜ転倒してしまうのか、自分はどのくらい転倒リスクがあるのか等を、実際に体を動かしながら学んでいただく学習会となりました。

「要介護状態になることを防ぐためには、ただ転倒予防に取り組むだけでなく、

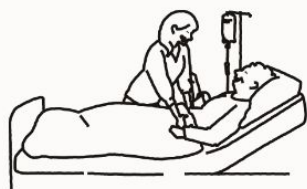
健康なうちに100歳体操や太極拳サークルなどの地域のコミュニティに参加して、健康意識を高めていくことも大切です。今後も、今回のような住民向け講習会などを通じて、継続的に地域住民の健康増進に関わっていきたいです（東郷）」

病院を飛び出し、地域に活動を広げる当院のリハビリテーションスタッフたちに
今後ご期待ください！

より良い医療を
目指して

私たちは、 6つの取り組みを推進しています

✓ 身体抑制は
廃止します



✓ 適切で
楽しい食事を
提供します



✓ 積極的に
離床します



✓ 「自分でトイレ」
を応援します



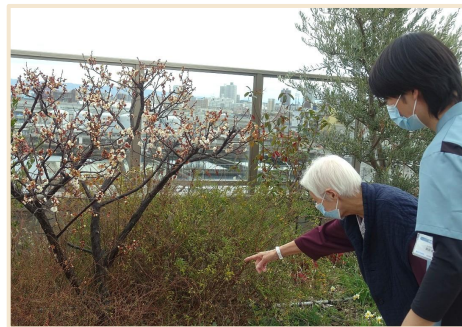
✓ 「口から食べる」
を応援します



✓ 多剤内服には
させません



《春を感じながら》 淀川平成病院のリハビリテーション



折り紙で桜の花を作りました。指先の細かい動きや握力が求められるため1つ作るのも大変ですが、完成品の美しい仕上がりに作業療法士と顔を見合わせて思わず笑顔。歩行トレーニングを行う屋上のスカイガーデンでは、梅が白くかわいらしい花を咲かせています。梅の話をしながら歩いたり、花を眺めたり。春の訪れを感じながらリハビリに取り組んでいます。

外来
受付時間

午前 8:30～11:30 (月～土)
午後 13:30～16:30 (月～金)

休診日

土曜PM・日曜祝日
年末年始